

私の学習法

竹野豊弘

その1. 部活に一生懸命。文武両道。最後の大会で、燃え尽きる。

学習とは無関係に思うかもしれませんが、私は、好きなもの（部活）に没頭させてもらっているのだから、その代わりに学習も頑張らなければならないと思っています。また、好きなもの（部活）を頑張っているのに「好きなもの（部活）のせいで勉強できなかった」と、かっこ悪いいわけをしたくなかったので、その分必死に学習しました。

また、「3年生の最後の大会で、燃え尽きる。」です。後悔をするのではなく、すっきり切り替えて、夏の学習に取り組みたかったからです。夏を制するものは受験を制す！

その2. 数学（好きな科目）は、休憩と思う！！

私は、家庭学習中に10分休憩しようとする、10分が、20分30分・・・と、気がついたら布団で寝そべりながらテレビを見てしまいます。だから、数学（好きな科目）を休憩時間と思い、休むことなく続けていました。そして、好きな科目を沢山増やし、無理なく続けられるよう努力しました。

その3. 結局いざは、普段なり。

定期テストで、満足できる点数をとるために、普段の授業を大切にしました。なぜなら、定期テストは、学校で教えた内容しか出ないし、目の前にいる先生が作る問題です。先生は、大切なところ（テストに出るところ）を赤で書いたり、まとめたり、わかりやすくしてくれています。だから、宿題は、絶対にやったし、授業中は寝なかったと思います。

その4. 語呂合わせで覚える。

暗記が苦手だったので、どうしても覚えられないものは、語呂合わせで覚えるようにしていました。例えば、漢字だと「挨拶」という漢字です。「ム矢く夕」（むやくた）、「疑う」を「ヒ矢マ定」（ひやまてい）と覚えました。リトマス紙は、**アルカリ**性“なのに”青。とか、覚えにくいものを覚えられることが、良い点数をとる人ととれない人の差だと思っています。

その5. 受験校に受ければそこが母校になる。

受験生は、「〇〇高校に行ってみたいなあ。行きたいなあ。」と言うと思いますが、合格し3年間通えれば大人になった時、『母校』として、自慢できます。自分で選ぶ進路だからこそ、自分が胸を張って言える学校にしたいと思って学習していました。